学校番号	306

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	『新詳地理探究』（帝国書院）『新詳高等地図』（帝国書院）						
副教材等	『地理資料　COMPLETE』（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の気候、地形、経済、文化について興味を持って取り組んでください。
・地図や写真、統計資料などを正しく読み取るようにしてください。
・作業学習に意欲的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の地理的認識を培う。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の諸地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、諸地域の地理的認識を深めるとともに、世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察する。
【学びに向かう力、人間性等】
地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を探究する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、国際社会に主体的に生きる日本人の資質を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解している。 世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につける。 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。	地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部第1章 自然環境	1節　地形 1　地形の成因と地球表面の起伏 2　地球規模の大地形 3　河川流域と海岸にみられる小地形 4　そのほかの特徴的な小地形 2節　気候 1　気候の成り立ち 2　気候と生態系 3　世界の気候区分 4　さまざまな気候帯 5　気候変動と異常気象 3節　日本の自然環境 1　日本の地形 2　日本の気候 3　開発に伴う災害と防災・減災の取り組み 4節　地球環境問題 1　地球環境問題とは 2　さまざまな地球環境問題 3　地球環境問題の解決に向けた取り組み	a：地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出
	第1部第2章 資源と産業	1節　農林水産業 1　農業の発達と分布 2　農業の地域区分 3　現代世界の農業の現状と課題 4　日本の農業の現状と課題 5　世界と日本の林業 6　世界と日本の水産業	a：資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

		2節　食料問題 1　世界の食料問題 2　日本の食料問題 3節　エネルギー・鉱産資源 1　エネルギー資源の種類と利用 2　化石燃料の分布と利用 3　電力の利用 4　鉱産資源の種類と利用 4節　資源・エネルギー問題 1　資源･エネルギーをめぐる課題 2　日本の資源･エネルギー問題	間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出
2学期		5節　工業 1　工業の発達と種類 2　工業の立地 3　世界の工業地域 4　現代世界の工業の現状と課題 5　工業の知識産業化とスタートアップ企業 6　日本の工業 6節　第3次産業 1　経済発展と第 3 次産業 2　商業の現状と変化 3　商業以外のさまざまな第3次産業		定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

	第1部第3章 交通・通信と観光・貿易	1節　交通・通信 1　世界を結ぶ交通 2　日本の交通の特徴 3　情報通信の発達 2節　観光 1　余暇の拡大と観光産業 2　日本の観光とその変化 3節　貿易と経済圏 1　世界の貿易と地域間格差 2　貿易の自由化と経済連携 3　日本の貿易	a：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出
	第1部第4章 人口村落・都市	1節　人口 1　世界の人口 2　人口の移動 2節　人口問題 1　世界の人口問題 2　日本の人口問題 3節　村落と都市 1　集落の成り立ち 2　村落の形態と機能 3　都市の成立と形態・機能 4　都市圏の拡大と都市の構造 4節　都市・居住問題 1　発展途上国の都市・居住問題 2　先進国の都市・居住問題 3　日本の都市・居住問題	a：人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

3学期	第1部第5章 生活文化、民族・宗教	1節　衣食住 1　世界の衣服と食生活 2　世界の住居と衣食住の画一化 2節　民族・宗教と民族問題 1　世界の民族・言語 2　世界の宗教 3　さまざまな民族問題 4　多文化の共生に向けた取り組み 3節　国家の領域と領土問題 1　現代世界と国家 2　領土問題と解決への取り組み 3　日本の領域と領土をめぐる問題	a：生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：生活文化、民族・宗教についてよりよい社会の実現を視野にそこにおける課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出
	第2部第1章 現代世界の地域区分	1節　地域区分 1　地域区分の意義と指標	a：世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解している。 世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけている。 b：世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：現代世界の地域区分についてよりよい社会の実現を視野にそこにおける課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度